

■ blaynmail APIの利用方法

<必要なもの>

- ・ID
- ・パスワード
- ・API Key

※お申込みで発行される
管理画面で確認できる
※トライアルでも使えます

The screenshot shows a management interface with a sidebar on the left and a main content area. The sidebar includes options like '新規作成', '配信管理', 'ステップメール', 'データ管理', and 'システム設定'. The main content area displays account information for 'endo' with the following details:

契約プラン	3000アドレス (登録 4 / 残り 2996)
契約期限	2018/12/31
ID	endo
パスワード *	1112 (半角英数)
メールアドレス	r-endo@e.blayn.jp
登録・解除フォーム	https://e.blayn.jp/rapid/p/f/t/tphe?id=endo
会社名	ブレイン(遠藤)
所属部署	
役職	
~~中略~~	
お支払い方法	銀行振込
API key	a67b199c7463ef44aaaa812a0b49ad15aa

■ blaynmailのアドレス(メルマガ会員)データの持ち方

blaynmailでは、「メールアドレス」をユニークキーにして、データを保有しています。同一アドレスの複数登録は行えません。

お手数ですが、以下の内容をご入力の上「登録」ボタンをお押し下さい。

*必須項目

E-Mail*	endo@blayn.com
生年月日	-- -- --
性別	<input type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性
都道府県	
以下の住所	
電話番号	- - (半角数字)
ニックネーム	

登録 リセット

→
コード表示

差込みコード	
項目	差込みコード
E-Mail	_c15_
生年月日	_c14_
性別	_c16_
都道府県	_c9_
以下の住所	_c11_
電話番号	_c12_
ニックネーム	_c24_

<データベースの構造>

error	status	c15	c14	c16	c9	c11	c12	c24
0	配信中	g_blaynblayn@docomo.ne.jp	637426800	男性	東京都	世田谷区	03-5428-5936	ブレイン太郎
0	解除	g_blaynblayn@ezweb.ne.jp	688921200	女性	東京都	渋谷区	03-5428-5936	ブレイン花子
0	エラー停止	g_blaynblayn@softbank.ne.jp	-177843600	男性	宮城県	仙台市	0225-99-9999	ブレイン信夫

管理用の項目として、

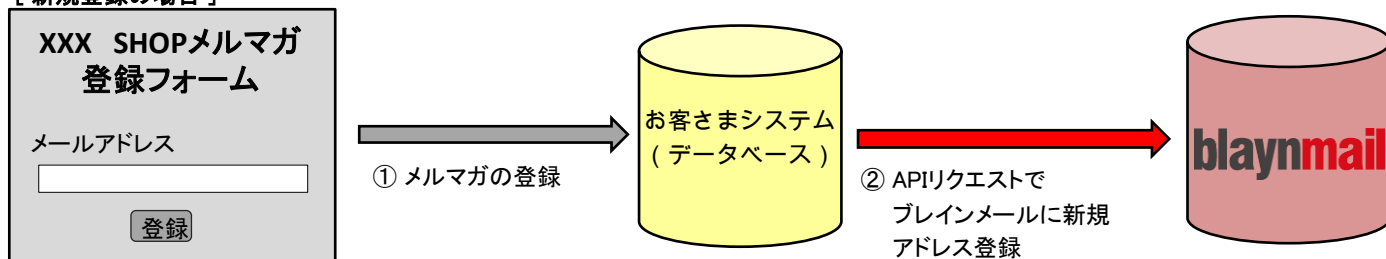
- error : エラーカウント数 … エラーメールとなった際にカウントアップする数値
- status : 状態 … アドレスの状態を示すもの

■ blaynmailへのデータ同期方法

既存システムとのメルマガ会員同期の方法は、以下を推奨しております。

①「常時連携タイプ」 既存システム会員登録/変更フォームとの連携

[新規登録の場合]



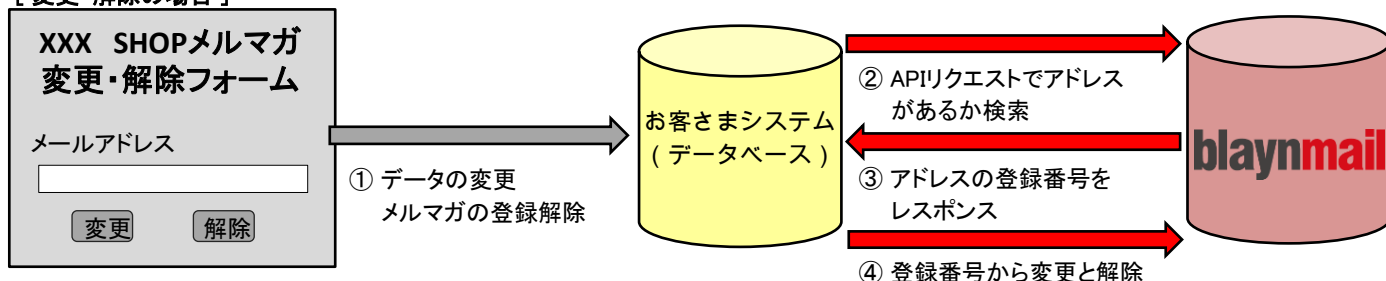
[お客さまWEB登録フォーム]

お客さまが管理されているWEBフォーム、システムからメルマガ会員の登録があった際は、データベースへ登録を行い、ブレインメールAPIでも登録を行うことで新しいデータは常に同期します。

<お客さまシステムでの処理の流れ>

1. メルマガ（システムへ）の新規登録受付。
2. データベースへデータを登録。
3. メルマガに必要なデータを、ブレインメールAPIに登録（必須項目：E-Mail）
4. 登録完了

[変更・解除の場合]



[お客さまWEB変更・解除フォーム]

お客さまが管理されているWEBフォーム、システムからデータの変更・メルマガ解除があった際は、データベースへ登録を行い、ブレインメールAPIに検索のリクエストを行い、データ編集をすることで同期します。

<お客さまシステムでの処理の流れ>

1. メルマガ（システムへ）のメールアドレス変更・メルマガの解除を受付。
2. データベースへデータを登録。
3. リクエストがあったメールアドレスが、ブレインメールに登録されているか検索。
4. 登録されている場合、登録された識別ID(登録番号)が返答される。
5. 登録番号を元に、データの変更・メルマガの解除をリクエストします。
6. 変更・解除完了

②「1日1回連携タイプ」既存システムデータベースとの連携

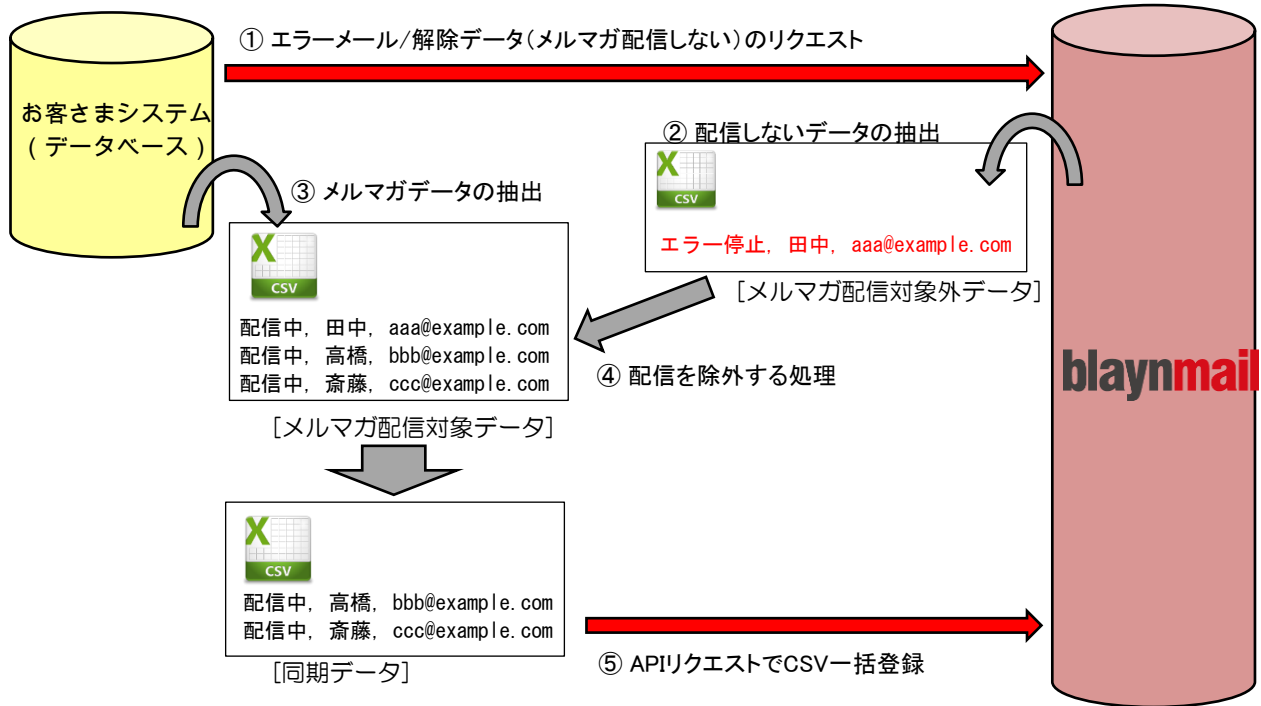


図1. APIで差分処理で連携した場合

お客さまが管理されているシステムから、1日1回など定期的にデータを同期する方法。同期する際は、必ず配信しないリスト(エラーメールや解除されたもの)を反映して、アップロードしていただく必要があります。

＜お客さまシステムでの処理の流れ＞

1. 配信しないリストの一覧を検索(状態: 配信停止、エラー停止、解除)
2. 配信しないリストの一覧CSVを取得
3. お客さまシステムから同期する配信対象リストをCSV抽出
4. 配信対象リストから、配信しないリストを除外したCSVを作成
5. 作成したCSVを、ブレインメールAPIへ一括登録リクエスト
6. 同期完了

■連携例

